

怪獣ゴルゴ (1961)

GORGO

メディア 映画

ジャンル SF 特撮

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 78分

初公開日 1961/01/10

公開情報 MGM

【解説】

アイルランド沖合いで海底火山が爆発、深海より一匹の怪獣が出現した。“ゴルゴ”と名付けられた怪獣は捕獲されるとロンドンへ輸送、サーカスの見世物となるが、その頃、遥かに巨大なもう一匹のゴルゴが現れた。英海軍の猛攻撃もはねのけた巨大ゴルゴはテムズ川に侵入、タワーブリッジを破壊すると遂にロンドンに上陸した。

怪獣大国・日本と比べると洋画の中では意外と少ないヌイグルミ怪獣映画の代表作。ストーリー的にはいたってシンプルなもの（後に我が国の「大巨獣ガッパ」でも真似ていた）で、「原子怪獣現わる」(53)に続くE・ローリーの演出も野暮ったい限りだが、特撮シーンになると俄然面白くなる。夜の効果をうまく利用したロンドン大破壊のスペクタクルは、例えば同時期の東宝特撮を凌いでいると言ってもよйдらう。実物大の子ゴルゴ輸送シーンは「スペクトルマン」の“マウントドラゴン”輸送シーンの元ネタであった事もよく判る（頼む、誰か判ってくれ〜！）。

【クレジット】

監督	ユージン・ローリー	Eugène Lourié	
製作	ウィルフレッド・イーデス	Wilfred Eades	
製作総指揮	フランク・キング	Frank King	
脚本	ジョン・ローリング ダニエル・ハイアット	John Loring Daniel Hyatt	
撮影	F・A・ヤング	F.A. Young	
特撮	トム・ハワード	Tom Howard	
編集	エリック・ボイド＝パーキンス	Eric Boyd-Perkins	
音楽	アンジェロ・フランチェスコ・ラヴァニーノ	Angelo Francesco Lavagnino	
出演	ビル・トラヴァース	Bill Travers	ジョー・ライアン
	ウィリアム・シルヴェスター	William Sylvester	サム・スレイド
	ヴィンセント・ウィンター	Vincent Winter	ショーン
	クリストファー・ローデス	Christopher Rhodes	マッカーティン
	ジョセフ・オコナー	Joseph O'Conor	ヘンドリックス教授
	ブルース・セトン	Bruce Seton	フラハーティ教授
	マーティン・ベンソン	Martin Benson	ドーキン
	モーリス・カウフマン	Maurice Kaufmann	

allcinema

ベイジル・ディグナム
バリー・キーガン

Basil Dignam
Barry Keegan